

児童養護施設に暮らす子供・親のいない子供たちを支援しています

NPO 法人

Heart Arise

ハートアライズ

11月号

vol, 36

作成 2016.11.9

年4回発行



【ホームページ】 <http://mediations.jp/blog/>

【事務局】 岩手県盛岡市下太田下川原 159-3

【お問い合わせ】 heart.arise.npo@gmail.com

【お急ぎの方】 019-681-9871



ホームページ

※ 謝メディエーションズ内

今月の内容

- 【1】 代表のご挨拶
- 【2】 スリランカ支援の由来
- 【3】 流しそうめん・児童からお礼の手紙
- 【4】 誕生日プレゼント（乳児院・清光学園・みどり学園）
- 【5】 ソフトバレー大会（清光学園）
- 【6】 青雲祭（青雲荘）
- 【7】 会員さんの声
- 【8】 その他

【1】 代表挨拶



代表：佐々木 純

皆様、こんにちは。

日頃より変わらぬご支援とご協力を心より感謝申し上げます。

早いもので今年の会報誌もこれが最後となりました。まだ少し早いですが、今年も一年間本当にありがとうございました。皆様の思いやりに感謝致します。

皆様のご支援のおかげで今年も多くの子供たちを継続的に支援する事が出来ました。

活動が多くの子供たちに受け入れられている事なので嬉しい事ではありますが、この様な支援を必要としている日本の現実は悲しい事です。当会が少しでも子供たちの役に立てる事を願ってやみません。

今年は新たに1団体3施設を支援対象に増やす事が出来ました。来年も会員数の増減を見ながら、地道に増やしていきたいと思えます。

そして、いよいよ海外の貧困者救済プログラムも始動します。この会報誌が皆様の手元に届く頃、私は事務局と共にスリランカにいると思えます。特に深刻な貧困者を救済する為に現地に於て本格的な準備を整えて来ます。スリランカ国内で大きく支援活動をしている寺院と連携する事になっています。

色々調べてみると、井戸を掘ってもある成分が高すぎて飲めないのだそうです。それでも貧困者はその土地から出る事も出来ずに雨水や湧き水をすすって生き延びているそうです。その地域の住人の多くは水が原因で腎臓病にかかっているそうです。唯一の方法は濾過装置を備えた大型の浄水機を設置するしかないのだそうです。

孤児たちが卒業するまで学校に通わせる支援を中心に、生きる為に必要なインフラ整備も併せて実施していきます。次回、新年の会報誌では途中経過をご報告出来ると思えます。

「なぜスリランカ？」とよく聞かれますので、その理由を次のページで紹介いたします。



なんで? スリランカ?



■海外支援の現実

途上国では、そこに暮らす多くの人が貧しい生活をしています。その中でも特に深刻な人を対象に支援するのですが、先に述べた様にみんなが貧しいので末端まで支援が行き届く前に物資や資金が消えてしまうのです！
また、そういうボランティアの支援を阻む間ビジネスも多く存在します。そこで重要なのが信頼出来る現地スタッフの確保です。今回手伝ってもらった現地スタッフはスリランカと日本の両方の国籍を持ち、スリランカの厚生省とも関係の深い方です。当会の代表とも親交があり、信頼できる人物が協力してくれる事になったのでスリランカの支援から始める事になったのです。

日本分割占領案



日本分割占領案。こんな恐ろしい事が粛々と進められていた！

- 赤 …ロシア
- 青 …アメリカ
- 黄緑…イギリス
- 茶 …中国

■日本を救った国!

日本が戦争で負けた後、サンフランシスコ講和条約の場で、ソ連、アメリカ、中国、イギリスによる「日本分割論」が提言されていたのをご存じですか？
そのまま進んでいけば現在の日本は4ヶ国の植民地になっており、日本人は現在のチベット民族の様な扱いを受けていたでしょう。
この時に唯一この提言に反対を宣言したのがスリランカ(当時セイロン)の大統領です。
1952年(昭和27年)4月28日、サンフランシスコ講和条約発効の前年に行われた連合国家51ヶ国が集まる講和会議において、「人はただ愛によってのみ憎しみを越えられる。人は憎しみによっては憎しみを越えられない」とブッタが教えた永遠の真理を訴えたのです。そして、スリランカも日本によって多大な被害を受けましたがその賠償権をすべて放棄したのです。
これによって各国の雰囲気が変わり、日本は日本のまま存続する事が出来ました。つい71年前の出来事です。そのスリランカで多くの人が、今、飢えに苦しんでいるのです。「今こそ、日本人として恩返しできるチャンスだ」と思ったのがもうひとつのきっかけです。



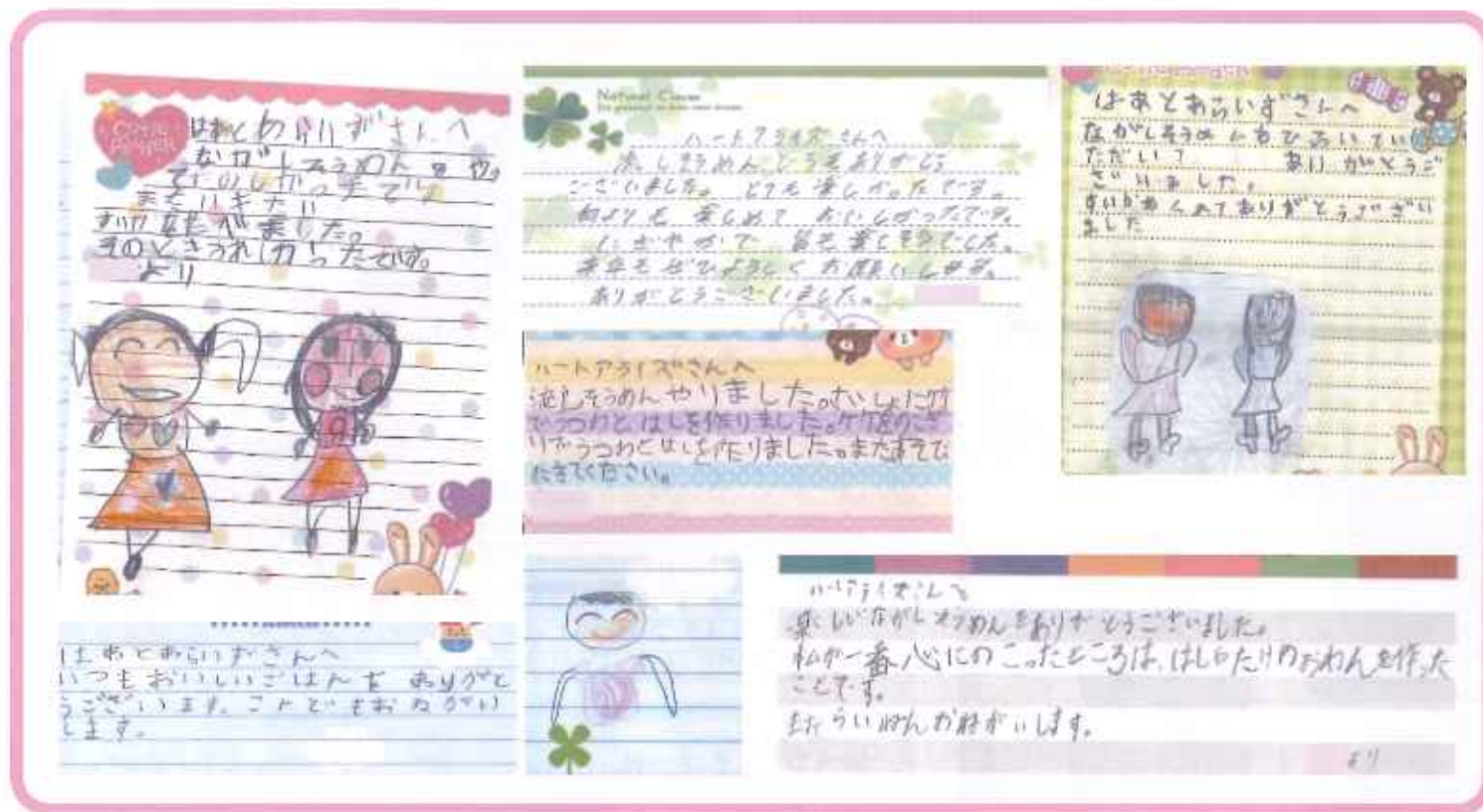
日本を救った
スリランカ初代大統領
ジュニウス・リチャード・ジャヤワルダナ

初代大統領の遺言により、右目をスリランカ人に、左目を日本人に献眼された。
当時長野市に住む40代の女性に移植されました。



～夏の流しそうめん・愛児園からお礼の手紙～

7月30日に秋田県横手市・愛児園にて行われた流しそうめんに参加した児童たちからお礼のお手紙が届いています。



施設からもお礼の手紙が届いております

ハートアライズ様

横手市立県南愛児園
「ドリームハウス」
園長 谷口 太郎

拝啓

残夏の候、ハートアライズ様におかれましてはますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。今年も『流しそうめん』を体験させていただき誠にありがとうございました。ハートアライズ様による流しそうめんは、子どもたちにとって、毎年恒例の行事になってきているようです。手作業で箸と器を作る事、それらを使って外で食べる流しそうめんは、とても刺激的だったようです。子どもたちはとても生き生きした表情でした。

現在県南愛児園では29名(地域小規模6名)の子ども達が生活しております。地域の皆様のおかげで不自由の無い暮らしをさせていただいておりますが、精神的な援助を必要としているのが現状です。ハートアライズ様には、様々な面で子ども達と関わって頂き、大変感謝しております。

ハートアライズ様のご厚意に衷心より感謝申し上げますと共に皆様のますますのご発展をお祈り申し上げます御礼とさせていただきます。

敬具

～誕生日プレゼント～

自分だけに贈られるプレゼント。それは何よりも嬉しいものです。子供たちは自分の誕生日が待ち遠しいようです！

(乳児院・清光学園・みどり学園)

7・8月



お誕生日おめでとう。プレゼントをくれたみんな、本当にありがとう。みんなのプレゼント、本当に嬉しいです。今年もみんなと一緒に楽しく過ごせました。来年もみんなと一緒に楽しく過ごせたいです。本当にありがとうございました。

誕生日プレゼント、贈ってくれたみんな、本当にありがとう。プレゼントをくれたみんな、本当に嬉しいです。今年もみんなと一緒に楽しく過ごせました。来年もみんなと一緒に楽しく過ごせたいです。本当にありがとうございました。

誕生日プレゼント、贈ってくれたみんな、本当にありがとう。プレゼントをくれたみんな、本当に嬉しいです。今年もみんなと一緒に楽しく過ごせました。来年もみんなと一緒に楽しく過ごせたいです。本当にありがとうございました。

誕生日プレゼント、贈ってくれたみんな、本当にありがとう。プレゼントをくれたみんな、本当に嬉しいです。今年もみんなと一緒に楽しく過ごせました。来年もみんなと一緒に楽しく過ごせたいです。本当にありがとうございました。

誕生日プレゼント、贈ってくれたみんな、本当にありがとう。プレゼントをくれたみんな、本当に嬉しいです。今年もみんなと一緒に楽しく過ごせました。来年もみんなと一緒に楽しく過ごせたいです。本当にありがとうございました。

誕生日プレゼント、贈ってくれたみんな、本当にありがとう。プレゼントをくれたみんな、本当に嬉しいです。今年もみんなと一緒に楽しく過ごせました。来年もみんなと一緒に楽しく過ごせたいです。本当にありがとうございました。

9・10月



ハートアライズでは、毎月一人一人から第三希望までアンケートを取り、誕生日の子供たちにお祝いのメッセージと一緒にプレゼントを贈っています。予算は5,000円以内を目処にしていますが、年齢や希望の品など必要に応じて臨機応変に対応しています。



【5】 清光学園 ソフトバレーボール大会



会員 菊池玲子さん

清光学園でソフトバレーボール大会がありました。ハートアライズからは、私を含め3人が参加しました。子供達はとてもこの日を楽しみにしていたようで、皆元気に走り回っていました。試合中はボールに一度も触らない子が出ないように、年上の子が年下の子を気にかけてながらも一所懸命に体を動かしていました。先生達も負けじと子供達の中に入って汗をかきながら体を動かしていました。バレーボール終了後は、全員で学園の庭でお昼を食べました。お弁当と芋の子汁をいただきました。とてもおいしかったです。試合中とお昼の様子を見て思った事は、子供達の仲はもちろん、先生と子供達の仲もとても良く、アットホームだという事でした。秋晴れの暖かい穏やかな日に、私の心も温かくなった、そんな一日でした。(その後、私は筋肉痛でした(笑))

【6】青雲荘 青雲祭

毎年行われる青雲祭では、子供たちと一緒に出店のお手伝いをしています。今年はおでん屋さんを担当。近所の人たちも多く遊びに来ます。子供たちがつくった作品が所せましと展示されています。



平成28年11月8日

ハートアライズ
代表 佐々木 純 様

社会福祉法人 小原慶福会
青雲荘 院長 佐藤 幸

謹啓

深秋の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、通日行なわれました第35回青雲祭では、ご多忙中のところハートアライズの皆様にはボランティアのご協力を賜り、誠にありがとうございました。職員一同深く感謝申し上げます。

おかげさまでもちまして、今年も二日間で340名に達する来場者を迎え、子どもたちにとってたいへん励みになったことと確信しております。それもこれも、一重に皆様方の心からなるご支援の賜物と改めて感謝するところでございます。

今後も、子どもたちの幸せのため、皆様方のご支援、ご指導を糧に職員一同努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様のますますのご清栄を祈念し、お礼の挨拶とさせていただきます。

敬白

いつも大変お世話になっております。
日頃からのご支援に深謝申し上げます。

会員 寺田志保さん

初めて青雲祭のお手伝いに参加しました。食堂の配膳のお手伝いを子供達と一緒に担当しましたが、子供達は先生の指示にとてもテキパキと動き、キラキラしていて感動しました。細かなところまで気配りのできる子供達をみると、毎日みんなと優しさを持って生活しているのが感じられました。帰り際に、またね!!と手を振ってもらえて嬉しかったです。また、機会があれば参加したいと思います。

会員 高橋幸大さん

私は食堂をお手伝いさせていただきました。お昼時にはたくさんのお客様が来店くださり、忙しくなるとそれを見ていた子供たちが自分からお手伝いに入ってくれるなど、とても頼もしかったです。子供たちと触れ合い、一緒に過ごした時間が学生時代に戻ったような懐かしさを感じる1日でした。また機会があれば是非参加したいと思います。

【7】会員さんの声

ハートアライズを支えてくれている会員さんを紹介しています。会員さんの声を見て、また新しい思いやりの輪が広がっていけば嬉しいです。

秋田県在住
高崎立子さん



こんにちは。私は、ハートアライズのことを教えてもらい2年位前に入会いたしました。ですが、まだボランティア活動に参加したことがありません。うまく子どもたちと向き合うことができるかな…とか、楽しませることができるかな…と考えていて参加に至っていませんでした。ですが、毎回送られてくる会報やボランティアに行ったお話をきくと「わたしも参加したい!」という気持ちが強くなります。

子どもたちから逆に教えてもらうことがあり、自分自身が成長できるのではないかと思います。日本は平和なほうだと思っていますが、戦争のなかで生きている子どもや大人、戦争しか知らない子どもたちが世界にはいくらでもいると思います。実際、そういった光景をテレビで観ると胸がしめつけられ、とても辛いです。自分ひとりの力ではどうしてもできませんが、地域でこういった活動がある、毎月1000円の寄付で愛児園の子どもたち、スリランカの子どもたちに喜びを与えられる…こういった活動が世界のどこかにひろがっていき、優しさをもった子が大人になり、それが連鎖反応のように広がっていくことを願っています。そして、この活動に出会えたことを嬉しく思います。まだ、愛児園に行ったことがありませんがその時がきたらみんなと一緒に楽しみたいと思っています。少しでも力になれば…と思っています。これからもよろしくお祈りします^_^

岩手県在住
福島美由紀さん



こんにちは。私はハートアライズが立ち上がったと同時に会員となり活動させて頂いています。そのきっかけとなったのは、代表のお言葉、私達は単にプレゼントをあげて不便を解消する訳ではなく、イベントで定期的に触れ合う事を通して「あなたたちは決して一人ではない。社会に愛されてる存在だ」と言う事を感じてもらおう事を目的としている。私も、この代表の思いに共感し入会しました。

活動の中で、芋の子会、クリスマス会に参加し無邪気に笑う子供達の笑顔に癒され、そして、帰る時には「みゆきちゃん、また来てね～」と声をかけてくれて、相互の触れ合いの中で幸せを実感する事が出来ました。この活動を通して、一人の歩は小さいけれど沢山の人が集まる事で50歩、100歩と大きな支援に繋がると感じます。今後もハートアライズの活動の輪が広がり支援する側もされる側も心が豊かになる事を願っております。

秋田県在住
佐藤史子さん



「何か自分に出来ることはないだろうか?」ずっと考えていましたが、なかなか出来ずにいました。ある日、「ボランティアをやってみたい?」毎月1000円の会費で、親のいない子供たち、児童養護施設で暮らす子供たちを中心に支援出来るという説明を聞き、すぐにハートアライズに加入する事にしました。1000円で人の役に立つことが出来る喜びを感じました。予定がつけば、イベントに参加したり、話したり、活動したりするなど一緒に時間を過ごす中で、たくさん笑顔を見ることが出来た時、自分に出来ることがあったと心が温かくなりました。

「支援とは、される側だけが豊かになるのではない。支援する側の心も豊かになる」という代表の言葉が浮かびました。「自分に出来ることは何か」、これからも問い続けていきたいと思っています。

【8】その他 カットボランティアに参加の会員さんより

先日、久しぶりに愛児園のカットボランティアに参加させていただきました。園の中に入ると以前一緒に遊んだ子供達に久しぶりに会いました。子供達がみんな大きくなっていて本当に驚きました。初めて会う子供達も何人かいましたが少し時間がたつと慣れてきてくれて話をしてくれる様になりました。トランプ遊びをしていたのですが私自身も久しぶりにトランプをしたのでとても楽しく新鮮な感じがしました。子供達が目をキラキラさせて遊んでいるのを見て私も嬉しくなりました。子供達の純粋さに触れる事が出来て良かったです。また機会があれば是非ボランティアに参加したいと思います(^-^)/

ハートアライズの紹介とご案内

由来と基本指針

ハートアライズは2011年に代表の佐々木 純 が個人で立ち上げた任意団体から始まった活動です。「出来る事を出来る事から」をモットーに少しずつ活動の場を広げるにつれ、その考え方に賛同する会員が増え、現在では北東北を中心に約200名(2016年現在)の正会員が集っています。会員数や支援先の児童養護施設、支援児童が増えて来た事を期に任意団体からNPO法人にし活動や資金の管理を明確にする様に致しました。

ボランティア団体の多くがビジネス化していて、善意で寄付されたお金の大半が役員報酬という団体も少なくありません。

どこに寄付すれば善意を100%正しく使ってくれるのか? そんな疑問を持っていましたが、当時その疑問が晴れなかったので自分達で立ち上げた団体です。

私はじめ、すべての役員は報酬を一切受け取っていませんので、当会の会費はすべてが活動と必要経費にのみ使われております。

入会のご案内

正会員からは毎月会費を頂き、準会員からは決まった会費は頂いておりません。任意で出来る時に寄付を頂いております。

実際の活動への参加においては どちらの会員さんも参加 不参加は自由です。

実際に活動に参加できる方、または参加する時間は無いが活動する為の資金を協力してくれる方、その双方の気持ちや行動は同じだと考えております。

- 正会員** 毎月1,000円 (会報誌が届きます)
- 準会員** 会費はありません (会報誌は届きません)
- 特別会員** 毎月1,000円以上 (会報誌が届きます)
※1,000円単位で決めて頂きます

※資金の管理上、会費は出来る限り自動振込にてお願いしております。

お申し込みは、事務局までお気軽にお問い合わせ下さい。

活動内容

- ◎親のいない子供、親と暮らせない事情の子供を対象に支援しています。
- ◎国の助成対象になっていない部分や児童養護施設だけでは補いきれない部分をハートアライズがお手伝いしています。
- ◎新入学・就職時のお祝い、準備の支援
- ◎季節ごとの交流イベントの開催
- ◎お年玉、クリスマスプレゼント
- ◎誕生日プレゼント
- ◎各施設イベントのお手伝い
- ◎学費、食費、生活インフラの援助(海外孤児)
- ◎なんでも相談室 など

現在の支援提携先

- ・岩手県盛岡市社会福祉法人「青雲荘」
- ・岩手県盛岡市社会福祉法人「みちのくみどり学園」
- ・岩手県花巻市社会福祉法人「清光学園」
- ・岩手県一関市社会福祉法人「ふじの園」
- ・岩手県日本赤十字社「岩手乳児院」
- ・秋田県秋田市社会福祉法人「感恩講児童保育院」
- ・秋田県横手市立「県南愛児園」
- ・スリランカの貧困者・孤児支援
- ・その他

合計 約350名の子供を支援しています